

令和2・3年度

常任委員会日常調査報告書  
(中間報告)

課題

- ①本町における土地利用の見直しについて
- ②都市計画道路の整備について

令和3年3月12日

高根沢町議会建設産業常任委員会

## 建設産業常任委員会日常調査報告書（中間報告）

建設産業常任委員会は、令和2・3年度の日常調査を実施するため、

### ①本町における土地利用の見直しについて

### ②都市計画道路の整備について

この2項目を課題として設定し、調査を進めています。

そこで、これまでの調査内容について中間報告いたします。

#### 【土地利用の見直し】

本町は都市計画法、農地法及び農振法の規制を受け、既存集落の人口減少、農村地域の小・中学校の児童生徒数の減少等の問題があります。

このような状況を踏まえ、令和2年8月18日（火）土地利用の見直しをした場合、新たな町づくり、人口集積がどのように図れるか、都市整備課職員の説明を受けました。

市街化調整区域内での宅地供給については、優良田園住宅制度の活用、特区制度の活用、地区計画の活用等、多くの施策があることから、人口減少、地域コミュニティの衰退などを考慮すると、規制緩和の可能性も視野に入れ、本町に合った土地利用を進める必要があると認識しましたが、提言までには至りませんでした。

そのため、今後も更なる調査研究を進めてまいります。

#### 【都市計画道路の整備】

都市計画道路整備についても、令和2年8月18日（火）町道路整備計画に基づき都市整備課職員の説明を受けました。

通勤時間帯の交通渋滞や豪雨時の雨水対策、災害時の避難経路の安全な確保などの多くの生活課題を抱えていることから、大変重要な計画であることを認識致しました。

次に、実際の道路状況を確認するため、令和2年11月20日（金）、都市整備課職員とともに当委員会があらかじめ選定した道路の現地調査を行いました。

現地調査から、それぞれの道路に対する課題、そして対応策としての提言は次のとおりです。

#### ①町道 343 号線・町道 560 号線

宝積寺中区周辺の道路（町道 343 号線・560 号線）は、駅へのアクセスも悪く周辺の土地利用も難しい状況になっている。地権者との用地取得も難航しているが、宝積寺駅周辺の活性化のため、接続も含めた周辺道路の整備をするよう提言していきます。

## ②町道 346 号線

この道路は、宝積寺北区の幹線道路であるが、交通量も少なく道路の幅員も狭く、歩道もない現状です。道路隣接の用地買収が必要となり、石末地区とのアクセスも悪い。雨水も溜まる等の問題点が多く存在します。町道路網整備計画では、中長期路線の整備となっているが、可能な限り事業の早期着手を実現するよう提言していきます。

## ③町道 525 号線

町道 561 号線(旧県道)から町道 494 号線の元気あつぷむら西側交差点までの区間については、道路整備が完了している。この交差点より南に延ばし、町内だけではなく芳賀町八ツ木地区にまで接続が可能であれば「道の駅元気あつぷむら」の利用者の増加につなげることができる考える。

道路整備計画を策定すること、県道杉山線への接続を優先的に実施することを提言していきます。

このようなことから、土地利用の見直し及び道路整備については、限られた財源の中で、優先順位をつけながら事業を進めなければなりません。

当委員会として、今後も更なる調査研究を進めてまいります。

以上、建設産業常任委員会の日常調査の中間報告といたします。

令和 3 年 3 月 12 日

高根沢町議会議長 小林 栄治 様

高根沢町建設産業常任委員会

委員長 高 根 博

副委員長 澤 畑 宏 之

委 員 横須賀 忠 利

委 員 齋 藤 誠 治

委 員 加 藤 章